

日時

平成29年 11月3日 (金)  
10:30~17:00

会場

JR静岡駅ビル パルシェ7F会議室 第1会議室  
〒420-0851 静岡市葵区黒金町49番地

プログラム

開場 (10:00)

研究発表 (午前の部 : 10:30-12:15)

現代日本の都市自治体における地域コミュニティ改革の意味  
松原 英治 (静岡大学創造科学技術大学院博士課程)

死人への危害はなぜ許されないのか  
米原 優 (静岡大学教育学部)

司会 : 竹之内 裕文 (静岡大学農学部)

お昼休み 12:15~13:15

研究発表 (午後の部 : 13:15-14:05)

自己認識と対人関係の始まりーメルロ=ポンティ「幼児の対人関係」講義における情動性の役割についてー  
澤田 哲生 (富山大学)

司会 : 上利 博規 (静岡大学人文社会科学部)

シンポジウム (14:15-17:00)

## 情報技術の展開と哲学

情報化の進展に伴って、人間存在を取り囲む条件が大きく変化している。当たり前のようにAI (人工知能) を搭載したロボットやビッグデータ処理によるサービスを楽しむ、コンピュータ・ネットワークを通じて相互にコミュニケーションし、「完璧」を求めて人間がバーチャルを欲望する時代である。このような状況における「人間」をいくつかの方向から検討し、その中で改めて「人間らしさ」や「コンピュータとのかかわり方」を問い直したい。

提題

司会 : 吉田 寛 (静岡大学情報学部)

共生か寄生か? —人とロボットの哲学と倫理  
久木田 水生氏 (名古屋大学)

SNSコミュニケーションとキャラ化  
中谷 勇哉氏 (京都大学)

<人間>の終焉とポストヒューマン  
根村 直美氏 (日本大学)

— 休憩 —

特定質問

中尾 健二 (静岡大学名誉教授)  
原田 伸一郎 (静岡大学情報学部)

- \* 会員以外の方でも参加可能です (参加費無料)。事前申込みの必要はありません。直接会場へお越し下さい。
- \* 各発表者のレジユメは、10月下旬に、哲学会のページに掲載されます。  
<http://www.hss.shizuoka.ac.jp/shakai/ningen/research/shizutetsu.html>

# 静岡 岡 哲 学 会 大 会

第四〇回

- 問合せ 静岡哲学会事務局 Email: shizuoka.philosophical.society@gmail.com Tel: 054-238-4488
- 後援 静岡大学人文社会科学部